

京都スタジアム(仮称)の建設推進に関する要望書

平成 25 年 12 月 16 日

亀岡市長 栗山 正隆 様

保津町自治会長

(亀岡市都市計画公園用地地権者代表)

亀岡市におかれましては、保津町のまちづくりに種々御指導、御協力をいただきありがとうございます。

保津町は、清らかな保津川の流れに代表される豊かな自然とともに、都に物資を運搬するための舟運の歴史や火祭りに代表される伝統文化などを育んできた地域です。

永い歴史において、時に保津川は水害という厳しい試練を私たちに与え、下流地域を水害から守るための役割を担わされてきました。そうした保津川の氾濫等により長らく土地利用が制限されてきましたが、日吉ダムによる洪水調節と河道改修による治水対策が進められたことで、徐々にではありますが JR 嵯峨野線の沿線部における都市的土地利用の道が開かれてきました。

また、保津川とその支流河川には、国の天然記念物のアユモドキなど数々の動植物が生息していることから、保津町は環境に配慮した農業をはじめ、渇水期等におけるアユモドキの救出活動や密漁パトロールなどにも主体的に取り組み、地域の豊かな自然と共生するまちづくりを進めてきました。

このような中で、亀岡市民の熱い思いを京都府知事におくみ取り頂き、京都府域の均衡ある発展の核となる京都スタジアム(仮称)が JR 亀岡駅の隣接地に建設されることとなり、今日までの保津町民の長年の苦勞が報われるとともに、南丹地域の未来に光が差し込むことになるものと歓喜しました。

ところが、地域住民の思いを理解することなく一部の「専門家」をはじめ、治水や環境保護の負担と責任を声高に保津町に押し付ける人達によって、無責任な議論が巻き起こり、建設計画が遅々として進んでいないように拝察いたします。

先駆的な研究者の御指導を得て保護してきたアユモドキが、「保津町のまちづくりを進める仇となってしまうのか」と思うと、やりきれない気持ちで胸が痛

みます。近畿地方で唯一の生息場所と言われますが、その責任は保津町民にあるのでしょうか。昭和52年に天然記念物に指定されて以降、かつての生息地でアユモドキが絶滅した責任は、保護すべき立場にある国や府県並びに保護に携わられた所謂「専門家」の無為無策にあるのではないのでしょうか。わずか550戸の保津町にその責めを押し付けることは止めていただきたい思いで、要望書を提出させていただくことにしました。

## 記

- 1 京都府知事が表明された京都スタジアム（仮称）が平成28年度末までに建設できるよう、速やかに必要な手続きを進めていただきますようお願いいたします。
- 2 アユモドキは、平成15年度に環境省が絶滅危惧種ⅠA類(CR)に指定された魚であります。既に保津地域においては野生で生息している状態とは言い難く、農業用の灌漑ダムを人為的に操作して産卵環境を創出するなどにより、保護されている状態であります。「現状改変の回避が保全の基本」などと危機感のない生息実態を無視した無責任な議論が展開されることは、アユモドキの存続を危うくするものです。これを機に国のアユモドキ保護増殖事業計画や府のアユモドキ保全回復事業計画に基づき、地域の農業者などに負担を押し付けないアユモドキの生息環境を造っていただくことをお願いします。
- 3 京都スタジアム（仮称）の建設予定地内の農業用水路は、灌漑ダムの操作により生息河川とつながることでアユモドキなどの魚たちが溯上することもあります。ダムを倒伏させれば水路の水は枯渇し、逃げ遅れた魚たちは死滅してしまいます。公的な管理が出来る「共生ゾーン」の整備によりそれらの農地や水路がなくなっても魚たちが安心して生息できる環境の創出を早急をお願いします。
- 4 京都スタジアム（仮称）の建設が頓挫することになれば、保津地域の住民は大いなる期待と将来への希望を閉ざされたとして、行動を起こす事態にもなりかねません。専門家の方々におかれましては、今日までアユモドキの保護活動に携わってきた保津町住民に対し、十分な説明を頂くことを強くお願いいたします。

終わりに、私たち保津町の住民は、今日までアユモドキを大切に守り育てて

まいりました。今後もこの思いは変わりません。しかしながら、報道される新聞記事などを見ますと、今日まで、保津地域のアユモドキの保護になんら手を差し伸べてこられなかった人たちの専門的な知見という一方的な意見が展開されることで、大切にしてきたアユモドキが、自分たちの生活を脅かす存在へと変わるのではないかと危惧を抱いております。そうなれば、保津地域にとってアユモドキの存続は難しいと言わざるを得ません。

どうか、専門家の良識ある英知を結集していただき、人のくらしと自然が共に存続できるスタジアムの建設を早急に進めていただき、京都が、亀岡が、地域が世界に誇るサッカースタジアムが早期に完成することを切に望みます。